

平成26年度事業報告書

公益財団法人の移行認定を受けて3回目の事業報告となりました。

幼児画・小学校児童画展助成及び顕彰事業

I…・幼児対象

第20回福岡県幼児画展（主催 福岡県幼児造形教育研究会・西日本新聞社）は、福岡県立美術館で平成27年1月6日（火）から12日（月・祝）まで開催されました。例年は福岡アジア美術館で開催されましたが、他の展示が同期間に開催されていたため今年は県立美術館となりました。その事業開催に対する助成金として85万円を援助いたしました。今回も特別賞（18点）特選（132点）入選（300点）の450点が展示されており、12日には、同美術館の視聴覚室にて表彰式が執り行われ、特別賞を受賞した子供や関係者の参加がありました。なお、「福岡県知事賞」をはじめ、特別賞受賞者18名については、11月27日付西日本新聞紙上で掲載されています。

応募総数は5,008点（98園）の作品が寄せられ、昨年度より1,505点減少しました。地区別には、福岡市内・北九州地区・筑後地区で大幅に減少しております。要因としては例年より応募締切が1週間程度早く11月25日に締め切ったことに加え、幼稚園や保育園で開催されるその他の行事と重なっていたことが挙げられます。今後は各園の指導に当たっている先生方の業務状況や年間スケジュールなど踏まえた日程調整が必要と思われます。一方、展示会会期中の来場者は、駐車場のある会場であったため昨年までは見られないバスを利用しての幼稚園単位の見学などもあり、連日賑わい7日間で2,500人を超え、盛況に終了しました。表彰式では、江口理事が賞状授与を行いました。

II…・小学校対象

- 1) 第63回福岡県小学校児童画作品展（主催 福岡県小学校図画工作教育研究会）に対し、活動推進助成のため第22回援助（総額88万円）を行い優秀な16校に松本文化芸術振興財団賞として賞状・ブロンズ盾（『若き飛翔Ⅱ』…高倉準一作）・筒を贈りました。同作品展は、福

岡市美術館市民ギャラリーで平成 27 年 1 月 6 日 (火) から 12 日 (月) まで開催されました。また、6 日には学校賞表彰式が福岡市美術館講堂で行われ、大場和夫理事が賞状授与を行いました。応募総数約 25 万点の中から各地区で審査後、特選に選ばれた作品 834 点が展示されました。「学校賞」受賞校の校長及び図画工作科担当先生・「特選」入賞児童とそのご家族、加えて一般客の来場者も多数ありました。

- 2) 上記作品展の特選作品受賞者に記念品（受賞者各人の作品の特製写真 5 枚）を例年と同じく贈呈し、地区名を小学校名の前により判り易いようにつけ子どもたちの画に細心の注意をはらいながら仕分け・発送を行いました。今回は先生方の作られた当選者名簿の記載ミスから 1 か所再送付の事案がありましたが、財団サイドではミスもなくスムーズに作業を終えることができました。

美術展事業：貸出管理運営事業

- 1) 平成 25 年度第 19 回福岡県幼児画展の台紙貼り付け作業を行い、収蔵作業を行いました。
- 2) 平成 24 年度第 61 回福岡県小学校児童画作品展の台紙貼り付け作業を行い、収蔵作業を行いました。
- 3) 絵画データベースシステムに平成 25 年度福岡県小学校児童画作品展特選作品（834 点）と第 19 回福岡県幼児画展特別賞及び特選作品（150 点）の文字情報入力を行いました。
- 4) 福岡県小学校児童画作品展特選作品の映像入力は、撮影画像データ（高橋カメラ制作）を、又福岡県幼児画展の方は、当財団でデジタルカメラの画像撮影をした画像データを絵画データベースシステムに追加登録しました。
- 5) 福岡県小学校児童画作品展の特選作品貸出件数は 13 件で、貸出総数は 411 点でした。詳細は、平成 26 年度作品貸出利用状況で列記しています。

美術展事業：インターネットこども美術館ふくおか事業

- 1) 新しいホームページを立ち上げ、2 年経過しましたが、スマホ対応画面とともに好評をいただいています。
- 2) 新しいホームページでは、特選受賞者の個人情報保護条例・プライバシーの観点から大幅に改善し、より見やすい画面構成となっております。引き続き動向を観察していきたいと考えます。

- 3) 『インターネットこども美術館ふくおか』のホームページ掲載点数は、平成25年度の特選受賞者の画像及び情報追加更新を行いましたので、2万点以上となっております。
- 4) HP を閲覧した父兄から年に1～2度の頻度で『子供の絵の返却はしてもらえないのか』という問い合わせがあります。今年度で23回目の収蔵を迎える過程で、一定の条件下のもと返却を考慮する議論も今後必要ではないかと考えています。